



2017年12月19日  
【2017-BJ-22】  
ユニリーバ・ジャパン

## ベン&ジェリーズとテラサイクル、 世界初のビニール傘リサイクルプログラムを開始

2017年12月 - ユニリーバ・ジャパン(本社:東京都目黒区、代表取締役プレジデント&CEO フルヴィオ・グアルネリ)と、テラサイクルジャパン合同会社(本社:神奈川県横浜市、アジアリージョナルマネージャー エリック・カワバタ、以下テラサイクル)は、ビニール傘を回収し新たな製品に再生する「ベン&ジェリーズ ビニール傘リサイクルプログラム」を開始します。

本プログラムは、ユニリーバ・ジャパンの掲げる「ユニリーバ・サステナブル・リビングプラン(USLP)」、さらにユニリーバのアイスクリームブランド「ベン&ジェリーズ」が取り組む気候変動対策の一環として実施され、ビニール傘を回収して再資源化する世界初のプログラムとなります。



### 【背景】

ビニール傘は、雨の多い日本において、もっとも手軽かつ安価に雨をしのぐことのできる手段として、近年その消費量を増加させ、国内で消費されるビニール傘の量は、年間約6500万本にもものぼると推定されています(※1)。一方で、簡素な構造のために耐久性に欠け、ビニール傘の大量廃棄にあたり、下記のような問題が発生しています。

- ①公共の場での投棄・放置
- ②焼却処分による温室効果ガスの発生

ビニール傘は、交通機関など公共の場における忘れ物として常に上位に位置しており(※2)、毎年大量に廃棄されているうえ、台風などの悪天候で壊れてしまった傘が路上に捨てられることも問題となっています。さらに、ビニール傘1本を焼却処分するにあたり、約692gの二酸化炭素が発生するため(※3)、気候変動に拍車を掛ける原因にもなっています。

### 【プログラム概要】

今回のプログラムでは、鉄道駅や大型レジャー施設、行政機関などの公共スペースが主な回収拠点となり、放置されたビニール傘を集積します。また、ユニリーバ・ジャパンの全オフィス・工場・研究開発拠点でも、ビニール傘の回収が行われます。回収されたビニール傘は、テラサイクルによって骨組と傘布に分離され、骨組は鉄原料として再資源化、傘布はプラスチック材としてリサイクルまたはアップサイクル(※4)され、新たな製品として生まれ変わります。製品については今後テスト予定ですが、アイスクリーム用保冷ボックスやうちわなどが候補に挙がっています。

プログラム開始時の回収協力拠点として、株式会社よみうりランド様をはじめとする大型レジャー施設、区役所などの行政機関、環境問題に関心の高い企業、NGOのプラスチックフリージャパンや、街頭清掃活動を行っているREAR PROJECTの参加が決定しており、計18拠点からスタートする予定です。また、この活動は駐日英国大使館によって後援されています。リサイクル処理の可能な量に限りがあるため、今後は回収量の推移を見ながら、順次回収協力拠点を増やしていきます。



プログラムの趣旨に合わせ、下記のいずれかにあてはまる団体様だけに回収協力をお願いしております。

- 1) CSR活動の一環として環境問題への取り組みを実施しているなど、環境意識の高い民間企業、NGO、NPOなど法人格を有する団体様や行政機関。
- 2) 放置されたビニール傘が危険となり得る公共性の高い施設を有している団体様。

いずれかにあてはまり、回収にご協力いただける団体様は、専用ページよりお問い合わせください。

(<https://www.terracycle.co.jp/ja/brigades/umbrella>)

回収、リサイクルに必要な全ての費用はベン&ジェリーズが負担します。回収協力者には重量に応じてテラサイクルポイントが付与され、そのポイントを利用して、テラサイクルのプログラムで再生化したプラスチック製品との交換や慈善事業団体への寄付を行うことができます。

## 【ベン&ジェリーズが気候変動対策に取り組む理由】

ベン&ジェリーズは、ブランドの価値観の一つとして、「地球環境へのネガティブな影響をできるだけ減らす」ことを掲げています。これまで、再生可能エネルギー利用を促進する啓蒙活動や使用済みスプーンのリサイクルなどにも取り組み、気候変動問題の解決に向けて積極的に活動を行ってきました。本プログラムでは、リサイクル界のパイオニアであるテラサイクルとともに、循環型社会の実現を更に推進していきます。

### 【ユニリーバ・ジャパン 代表取締役プレジデント&CEO フルヴィオ・グアルネリのコメント】

アイスクリームでおなじみのベン&ジェリーズが、ビニール傘を回収するというのは意外に思われるかもしれません。しかし弊社の欧米のデータを分析すると、アイスクリームは「雨が降る前によく買われている」ということがわかり、雨の日には必要不可欠な「傘」をリサイクルするというアイデアを思いつきました。異常気象の象徴とも言えるゲリラ豪雨や巨大台風などで使い捨てされがちなビニール傘を回収・リサイクルすることで、気候変動を防ぐ活動に一助できればと思います。

### 【テラサイクル 創業者兼CEOのトム・ザッキーのコメント】

ビニール傘のリサイクルは、テラサイクルが世界21カ国で展開するプログラムの中でも初の取り組みです。これまで焼却処分されてきたビニール傘をリサイクルすることで、リサイクル界への新たなムーブメントを起こすきっかけになると確信しています。

### 【出典】

※1 日本洋傘振興協会よくある質問：<http://www.jupa.gr.jp/pages/faq>

「ウェザーニュース傘調査2016 持っている傘のうち、ビニール傘の割合」から、47都道府県の平均値を算出：  
<http://weathernews.jp/s/topics/201608/010095/>

国内での傘の年間消費量は約1億3千万本で、そのうちの50%をビニール傘が占めると推定しています。

※2 JR四国 平成27年度忘れ物白書：[http://www.jr-shikoku.co.jp/03\\_news/press/2016%2008%2022%2002.pdf](http://www.jr-shikoku.co.jp/03_news/press/2016%2008%2022%2002.pdf)

※3 環境省 3R原単位の算出方法：<https://www.env.go.jp/press/files/jp/19747.pdf>

※4 廃棄物や使わなくなったものを別の用途を持つ製品に再利用して循環させる仕組み



## テラサイクルジャパン合同会社とは

米国TerraCycle Inc.の日本法人。リサイクルが困難なパッケージなどの廃棄物を世界各国で回収し、様々な製品にリサイクルするグローバル企業です。テラサイクルは21カ国で事業を展開し、大手企業やブランドと協働で使用済みのパッケージ等を回収し、原料や製品として再利用しています。廃棄物は回収リサイクルプログラムを通じて、消費者や各種団体、企業などから回収されます。このプログラムでは、協力者からの回収量によってテラサイクルポイントが付与され、そのポイントは学校や慈善事業への寄付金として交換できるシステムを導入しています。日本国内では、吸い殻、使用済みメイクアップ容器、使用済みハブラシ、シャンプー・ヘアケア用品を回収し、新たな商品に生まれ変わらせるプログラムを実施しています。

URL: [www.terracycle.co.jp](http://www.terracycle.co.jp)



## ベン&ジェリーズとは

アメリカ・バーモント州で生まれたスーパープレミアムアイスクリーム「ベン&ジェリーズ」は、1978年、アイスクリームが大好きな2人の青年ベンとジェリーが、ガソリンスタンド跡地に開いた小さなお店から始まりました。ゴロゴロしたチャンク(チョコレートやクッキーの具)が入ったユニークなアイスクリームはたくさんの人を虜にし、現在は世界37か国\*で展開しています。日本では「ららぽーと豊洲店」が営業中。ミニカップは全国の一部のスーパーやオンラインストアなどでも販売しています。お店と同じおいしさをご家庭でも楽しんでいただけます。



上: 表参道ヒルズ スcoopショップ

ベン&ジェリーズでは創業以来、「ビジネスには、そこで得たものを社会に還元する責任がある」という考えのもと、単に利益の一部を社会貢献活動に使うということではなく、ビジネス自体が社会に貢献するものになるよう、事業を展開しています。たとえば砂糖やバニラ、ココアなどの原材料は世界中の生産者と適正な価格で取引しており、アイスクリームとして日本で初めて\*の「国際フェアトレード認証」を受けています。またおいしく安心なミルクのため、牛にも地球にもハッピーな持続可能な酪農法を牧場の人たちと協働で行っています。大切にしているのは「社会のためになることを、楽しい方法で行う」こと。これからもさまざまな楽しい取り組みによって、世の中をよりよくする、おいしいアイスクリームをみなさまにお届けしていきます。



上: バーモント州にあるベン&ジェリーズの契約酪農場

\*1 フェアトレードラベルジャパン調べ

\*2 アイスクリームショップを22か国で展開しているほか、小売のみの展開を15か国で行っています。

ベン&ジェリーズ公式ホームページ、フェイスブック、ツイッター、インスタグラムでは、キャンペーンなどおとくな情報をぞくぞくお届けしています！



ベン&ジェリーズ公式HP  
<http://www.benjerry.jp>



@benjerry\_jp  
[https://instagram.com/benjerry\\_jp/](https://instagram.com/benjerry_jp/)



facebook.com/BenJerrysJapan  
<https://www.facebook.com/BenJerrysJapan>



@benandjerrys.jp  
[https://twitter.com/benandjerrys\\_jp](https://twitter.com/benandjerrys_jp)

<一般のお客様からのお問合せ先>

ベン&ジェリーズ お客様相談室

フリーダイヤル: 0120-500-985 営業時間: 9:00~17:00(土・日・祝日を除く)

<報道関係の皆様からのお問合せ先>

ベン&ジェリーズ PR事務局 株式会社シンシアコミュニケーションズ 担当: 野地、入 (いり)

TEL: 03-5464-6825 FAX: 03-5464-6734 MAIL: h-noji@sincere-c.com